



**第29回テーマ：
六甲山の清掃運動と
水質調査**

講演内容

- ①六甲山から
ゴミを一掃する運動
- ②六甲山における
水質調査と植樹

実施日：平成17年8月20日（土）
午後1時～3時30分
場 所：六甲山自然保護センター
レクチャールーム



講師：岡 敏明さん

プロフィール

1947年兵庫県加西市生まれ。神戸大学経済学部卒、日本ペイント(株)勤務。1997年兵庫県勤労者山岳連盟傘下摩耶山友会入会、兵庫県勤労者山岳連盟理事（自然保護担当）

記念碑台周辺の清掃整備を見直した

六甲山はとても涼しく夏の終わりを感じました。自然保護センターの展望テラスから見晴らしが良く神戸空港も見えていました。

午前の清掃整備ボランティア活動では、神戸市森林整備事務所の高橋所長から活動についての指導や助言を受けました。記念碑台周辺の散策コースを高橋所長と10名のメンバーと一緒に歩きながら、整備清掃の進め方を話し合いました。

兵庫労山のゴミを一掃する運動を知った

岡敏明さんは、兵庫県勤労者山岳連盟（略称：兵庫労山）に加盟している摩耶山友会の会員で、兵庫労山では理事（自然保護担当）をされています。今回は清掃登山運動「六甲山からゴミを一掃する運動」と六甲山系の水質調査を中心に、スライドや調査マップを用いてお話いただきました。清掃登山運動は27年間も続いており、環境大臣賞を受けるなど社会的に高く評価されています。セミナーには岡さんと同じく兵庫労山の仲間も参加され、積極的な発言で場を盛り上げていただきました。



27年間にも及ぶ運動に感動

飲み水の決め手は大腸菌の有無

兵庫労山では六甲山系の水質調査を自主的に定期調査されています。最近の実施結果や調査時の工夫や苦労話などを伺いました。コップが置いてあっても飲めない水場があることに驚きました。六甲山系の水は飲めるか飲めないかという話題で、大腸菌の有無が判断の基準になるとのことでした。

全市民にクリーン運動を呼びかけたい

六甲山で活動している団体や一般市民と一緒に、大々的な六甲山の清掃運動“10万人クリーン作戦”をしたらどうかという声がありました。今回をきっかけに何か試みを考えていきたいと思えます。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 根岸 真理さん

山歩きが好きな私にとって、六甲山は地元の山として一番身近な存在。以前からゴミを拾いながら歩いているグループをよくお見かけしましたが、今回兵庫労山さんの長年にわたる取組みについてお話を伺うことができて改めて感服しました。地道なご活動がハイカーのモラル向上などにも影響を与え、「よい循環」を作り出しているように思えます。今後も更に多くの人を巻き込んで「六甲山のよき習慣」となればいいですね。



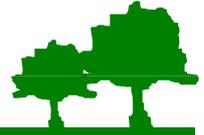
主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

(財) 大阪コミュニティ財団 (東洋ゴムグループ環境保護基金)、(財) ひょうご環境創造協会、コープこうべ環境基金、灘区役所「地域力を高める」事業助成



テーマ：六甲山の清掃運動と水質調査



第29回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ：13:00～13:10
2. 講演：13:10～14:40
3. 休憩：14:40～15:00
4. 質疑応答：15:00～15:30

講演

- ①六甲山から
ゴミを一掃する運動
- ②六甲山における
水質調査と植樹



講演のあいさつ(岡 敏明さん)

兵庫労山が27年間続けてきた運動についてご紹介します。私が携わってきたのは8年位になります。



岡 敏明さん

講演内容

兵庫県勤労者山岳連盟の自然保護の活動について、スライド、「六甲クリーン&グリーン地図」、水質調査の結果一覧表などを用いて解説していただきました。

はじめに：勤労者山岳連盟（労山）の紹介

労山とは勤労者山岳連盟の略で、1960年に創立された。登山技術の向上や遭難防止活動、山岳自然保護を目的として活動しており、約2万人の会員がいる。労山には各都道府県に支部があり、兵庫労山は会員数約2500人で東京に次ぐ規模。兵庫労山は50の山の会で構成されている。

1. 「六甲山からゴミを一掃する運動」

■「ゴミがなくなるまで半永久的に取り組む」

1974年に全国労山の呼びかけで、年1回、全国一斉に清掃登山が行われるようになった。当時、六甲山は深刻なゴミ問題を抱えており、兵庫労山では登山者のモラルが良くなり、「ゴミがなくなるまで半永久的に取り組む」ことを決めた。以来1978年から27年間に渡り、兵庫県のみは毎年11回の清掃運動を続けている。(現在は年6回)

■集めたゴミは350トン

兵庫労山の各会で六甲山の清掃区域を決めている。各会の責任でゴミを集めて、缶・ビン・粗大ゴミ・燃えるゴミに分別して処理している。集めたゴミは毎月集計する。27年間で集めたゴミは計350トンで、参加者は延べ12万人にのぼる。



ゴミ拾い



ゼッケンを付けて呼びかける

■六甲山からゴミが減ってきた

長年清掃活動を続けてきた成果で、ゴミの量は減った。登山者から「ゴミが減った」という声も聞くようになった。1998年には兵庫県知事賞、2004年には環境大臣賞を受賞した。賞をもらうためにやっている訳ではないが、多くの人に評価してもらったことを喜んでいる。

■六甲山から兵庫県全体へ

登山道のゴミは減ったものの、車道などではゴミ捨てがあったり、家庭の電化製品などの大型ゴミの不法投棄があったり、ゴミの質が変化している。また、六甲山以外に汚れた山がまだまだあるので、2004年からは「兵庫の山からゴミを一掃する運動」という名称に変えて活動している。

2. 六甲山における水質調査と植樹

清掃以外の取り組みとしては、水質調査や植樹をしている。2002年からはハイカーが好んで利用するような湧き水の水質調査を行っている。検査を専門機関に依頼すると1回で7,8000円かかるので余り多くの場所ではできない。



植樹活動



水場の看板

■大腸菌が一番問題

水質調査ではCOD（化学的酸素消費量）や酸性かアルカリ性かを見るpHなどを調べるが、一番重要なのは大腸菌。大腸菌がいると、赤痢菌や疫痢菌が入っている可能性が高いことが問題になる。

■水質は時季で変わる

湧き水の水質は時季によって変わる。1回検査をして問題がなくても、2回目でだめな場合もある。たまに飲む程度なら大腸菌がいたからといって死ぬことはないが、六甲山の湧き水を飲む場合は基本的に沸かして飲んだ方がいい。

兵庫労山が実施した六甲山系の水質調査
(六甲クリーン&グリーン地図より)

場所	検査日	大腸菌	一般細菌 (100ml中)
1.武庫川廃線跡右岸 [×]	02年2月4日	陽性	65個
	02年7月22日	陽性	3個
2.宝塚塩尾寺下 [○]	03年1月27日	陰性	2個
	03年7月14日	陰性	4個
3.宝珠水(荒地山下) [×]	03年1月27日	陰性	5個
	03年8月26日	陽性	9個
4.芦屋ゴルフ場 (雨ヶ峠下蛇口)[○]	03年1月27日	陰性	なし
	03年7月14日	陰性	なし
5.五助堰堤上[×]	02年2月4日	陽性	1個
	02年7月22日	陽性	400個
6.逢山峡キャンプ場 [○]	03年1月27日	陰性	なし
	03年7月14日	陰性	なし
7.石切道分岐下[×]	02年2月4日	陽性	3個
	02年7月22日	陽性	67個
8.有馬紅葉谷降り口 [○]	02年2月4日	陰性	1個
	02年7月22日	陰性	2個

■植樹活動

阪神大震災で被害を受け、荒らされた山肌を直すため植樹活動も行っている。グリーンベルト構想の一環としての活動でもあり、森林整備事務所の指導を受け、主にクリーンハイクコースに植樹をしている。

質疑応答

清掃運動に行政はどう関わっているのか? : 行政は集めたゴミの回収やゴミ袋、軍手などを提供してくれる。行政は申請さえすれば協力してくれる。

自前の水質検査はどうやるのか? : 東急ハンズなどで売っている試薬を使う。25パックで2、3000円程度。大腸菌はパケットではわからないので12時間培養して検査する。(身体につけて)培養は難しく、個人差が出る場合もある。

◆参考・配布資料など

- ・レジュメ、スライド
- ・「六甲クリーン&グリーン地図」

・資料

- ①「自然保護運動の歩み」
- ②「自然保護とゴミに対するモラルについて」
- ③水質調査結果一覧表



六甲クリーン&グリーン地図

兵庫県勤労者山岳連盟

〒651-0095 神戸市中央区旭通3-4-12

TEL : 078-222-2463 FAX : 078-222-2109

URL : <http://www.nextftp.com/hyogo-rousan/>

労山の活動には横のつながりはあるのか? : 横のつながりは薄い。清掃ハイクも実践は山の会に任されているので、会によってやり方は大きく違う。今後は労山以外の団体も含めて横のつながりを強化することも課題になっている。



喜多 伸介さん



福井 壽彦さん

岡さんのまとめ

六甲山は昔に比べて確かにきれいになったが、ゴミがなくなったわけではない。今後とも自分たちだけが「ゴミを捨てない。ゴミを拾う」だけではなく、山に登るすべての人にも働きかけるよう運動を継続していきたい。

参加の感想 川原田 俊さん

おなじ仲間内として清掃運動に関わってきましたが、まとまった話を聞くことが出来、一区切りついた思いです。私は、初期から参加していますが、昨今ハイカーとしても拾うゴミは確かに少なくなってきました。今後の問題は大きな産廃です。これには行政の力を必要とします。労山以外のの方の意見が少ないのは残念です。



事務局より

我々も六甲山の清掃をしています。大先輩がされている運動には感服しました。ハイカーのマナーは良くなりゴミの問題から環境保全へ発展してきています。市民が積極的な関わりが出来るように啓発する大事さを感じました。これからも進んで活動していこうと触発されました。

◆参加者の感想 ～アンケートより～

- ・水質に関する内容が興味深かった。六甲山系の至る所に湧き水が出ることは驚きだった。
- ・兵庫労山の27年間の活動に感動した。六甲山での関わり方として地味な姿だが、とても大事なことを改めて認識しました。

◆参加者 : 25名 (順不同・敬称略)

岡 敏明	浅井 審一	大谷安規永	村上 定広
青木 孝子	八木 浄	北山健一郎	福井 壽彦
喜多 伸介	久保 順一	酒井 醇一	根岸 真理
澤田 中	岡本 武蔵	尾崎 尚子	大塚 正勝
柴田 正生	川原田 俊	栄 和美	森本 順三
堂馬 佑太	堂馬 英二	藤井宏一郎	菖蒲 美枝